

産科 婦人科 漢方
浮田医院
 だより



第 23 号
 発行所：産科 婦人科 漢方
浮田医院
 〒520-1214 滋賀県高島郡安曇川町末広3丁目28
 TEL 0740-32-3751
 FAX 0740-32-3795
<http://www2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>
 発行日：平成12年10月5日(木)
 発行者：浮田 徹也



漢方薬のよき

脈診

II (23)



実りの秋です。この1年の計画は実りそうですか。少しでも治療内容を理解して頂こうと、各種プリントを作成中です。限られた診療時間で、できるだけ多くの方を診察し、しかも、どのような治療を受けているか理解してもらいたいと言っているかプリントを作りますが、よく分からない場合、遠慮なく、ご質問ください。

今月も、「脈診」のことをお話しましょう。脈に触れてすぐ分かるような「浮いた脈」を「浮」、脈を押してやると分かるような「沈んだ脈」を「沈」と言います。「浮脈」は、体に「熱」の多い時、「沈脈」は、体が「寒く」「冷えて」いる時に現われます。「弓づる」のような「弦」の脈は、緊張感や疼痛の激しい時、「太い綱」のような「緊」の脈は、「寒」の激しい時、「玉を転がす」ような「滑」の脈は、「熱」の多い時、「太くやや軟らかい」「洪」の脈

は、血流が多い時、「結」は規則正しい不整脈の時、「代」は不規則な不整脈の時に現われます。「速い」脈を「数」、「遅い」脈を「遅」と言います。では、実例をお示しします。
 35歳女性、「子宮内膜症」(過



紅 燃ゆる紅葉

多月経、月経痛、貧血、排卵痛、便秘)で来院。赤ら顔。両側臍傍抵抗圧痛。脈は沈み、ゆっくり(緩)で、細く、舌は紅紫色、先に暗紅色点、黄色の乾舌苔が見られました。そこで、通導散+牡丹皮、桃仁、芍薬、川芎、地黄、三稜、莪朮を処方すると、過多月経、月経痛、排卵痛は改善し、貧血もなくなりました。

28歳女性、「子宮内膜症」(過多月経、月経痛、貧血、便秘)で来院。青黒い顔。両側臍傍抵抗圧痛軽度。お腹は軟らかく、弾力性はない。脈は沈み、遅く、細く、舌は暗紅色、無苔。そこで、芍婦調血飲第一加減をしたところ、過多月経、月経痛、排卵痛はなくなり、貧血も改善してきました。

72歳女性、「下肢の神経痛」(「腰痛」で来院。顔色普通。脈は弦で数。舌は淡白、乾白苔。両側胸脇苦満(肋骨下の抵抗圧痛)、腹直筋緊張、左臍傍抵抗圧痛、下肢静脈怒脹及び細絡(みみずのような血管)が見られましたので、疎経活血湯+木瓜、木通、紅花を処方したところ、長年苦しんだ腰痛がなくなりました。

35歳女性、「挫骨神経痛」で来院。7日前より突然、腰と左脚が





痛み始めたそうです。脈は沈み、緊張が強く、弦脈、舌は淡紅色、薄白苔。腹直筋が強く張り、背中の腎愈、委中、環跳、風市、陽陵泉に圧痛が著明に認められたため、皮内針と鍼を併用したところ、3日毎の治療3回でよくなりました。

55歳女性、「股関節痛」「腰痛」で来院。脈は浮いて、緊張があり、弦、舌は淡白色、無苔。腹部に力はなく、足はよく冷えると言われました。そこで、気衝にスーパーライザーを10分当てたところ、痛みが随分減りました。毎日3日続けてよくなりました。

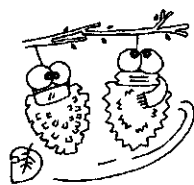
75歳女性、「骨粗鬆症（腰痛）」で来院。脈は沈み、弱く、遅、舌は暗赤色、中央に深い溝、乾白苔。腹部は軟らかく、心下痞硬（みぞおちの抵抗）、臍下不仁（フニャフニャの下腹部）、骨量より骨粗鬆症」と診断し、補陰湯を処方しました。次第に、腰痛はなくなり、2年後の現在も、骨量減少はありません。

34歳女性、「骨量減少」が見つかり加療開始。脈は洪、舌は淡紅色、無苔。腹力弱く、胸脇苦満軽度、足がよく冷える。お産後の骨量検査で、骨量低下著しく、補中益気湯十牡蛎を処方し、1年

後、骨量改善。

18歳男性、「アトピー性皮膚炎」で来院。小さい時から、喘息、鼻炎、アトピー性皮膚炎で苦しんできた。ステロイド皮膚炎が頻くなり、2ヶ月前より中止すると、顔、首、腹、背中、腕、足など全身が赤くなり、ほてって痒く、引っ掻き傷から、ジクジクした液が出、黄色痂皮（かさぶた）を形成。腹は堅く、両側腹直筋も張り、脈は数、滑で力がある。舌は紅色、厚乾黄苔。そこで、治頭瘡一方十桔梗石膏十黄連解毒湯を処方。1ヶ月で、糜爛（掻いたただれ）部消失し、紅班（赤くなった皮膚）と苔癬（黒く肥厚）が残り、荆芥連翹湯十黄連解毒湯十桂枝茯苓丸に変更。その後、落着く。

澄んだ秋の空気に体（気道）も心も馴染んできましたか。乾いた寒い空気に馴染む準備に取り掛かってください。次回は、腹診Iです。お楽しみに!!!

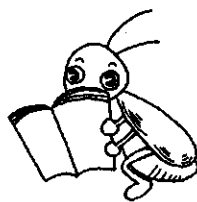


【院長】



子宮内膜症の方へ

子宮内膜症は、過多月経、月経痛、下腹部痛、腰痛、性交痛、肛門痛、排便痛……を伴い、晩婚化、出産年齢の高齢化、少子化と共に増加し、原因不明不妊症の50%を占めています。問診、内診（直腸診）、経腔超音波検査、腫瘍マーカー（時に、CT、MRI、腹腔鏡）で診断し、西洋医学的治療（ホルモン治療や手術治療）が盛んに行なわれています。軽症～中程度の場合、漢方薬で症状、病状や体質が改善します。ホルモン剤と異なり、月経も排卵もあり、体重増加や肝機能異常ありません。



骨粗鬆症

【骨量】は、成長期のカルシウムや蛋白質の摂り方や運動の仕方に左右されます。女性は閉経期（およそ50歳）以後、急速に減少、男性は50歳代を過ぎる頃から、徐々に減少します。食事、運動、日光浴が効果的です。治療は、漢方薬で体の調子を調えながら、必要に応じて、VtK₂、Ca剤、VtD、女性ホルモン（HRT）を併用しています。



神経痛

上肢（腕）、挫骨（腰）、下肢（足）の神経痛（冷え、痛み、しびれ）の治療は漢方薬を飲んだり、漢方入浴剤を使ったり、針（円皮針、鍼）やスーパーライザーをお試しください。足のマッサージ器も効果的です。



当院の漢方治療



剤型について

- ・エキス漢方：エキス顆粒の漢方薬（大部分【粉薬】、一部【錠剤】）。携帯に便利。
- ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組合せた漢方薬。40～50分煮て作ります。

当院のエキス漢方は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも、湿める場合、【冷蔵庫】で保管して下さい。

漢方薬が湿りやすい場合、当院の【漢方専用容器】（無料）をご利用下さい。

適応症について

すべての疾患に適応できます。便秘、頭痛、肩凝り、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、排尿障害、発熱・・・など全ての症状に対応できます。

- ・漢方薬のよく効く疾患
アトピー性皮膚炎、更年期障害、肩凝り、腰痛、便秘症、子宮内膜症、生理痛、冷え症、低血圧症、子宮筋腫、過敏性大腸炎、慢性肝炎、慢性疲労、めまい、頭痛、下痢、風邪、肥満、夏ばて、動悸、慢性膀胱炎、血尿、慢性中耳炎、慢性副鼻腔炎、慢性扁桃腺炎、口内炎、口腔乾燥症、痛風、夏まけ、慢性胃炎、慢性膵臓炎、慢性胆嚢炎、胆石症、胃十二指腸潰瘍、前立腺肥大、クローラ病、虚弱児、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、帯状疱疹後神経痛、神経痛、膝関節症、下肢静脈瘤、上下肢浮腫、不妊症、切迫流産、切迫早産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不良、乳腺症・・・等
- ・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患
高血圧症、アレルギー性鼻炎、糖尿病、骨粗鬆症、痔、肝硬変、肝臓癌、喘息、腎炎、甲状腺疾患、高脂血症、高コレステロール血症、不眠症、自律神経失調症、鬱病、夜尿症、慢性関節リウマチ、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用時倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・・・・・・・・等

エキス漢方と漢方煎じ薬について

- ・軽症の病気：漢方製剤（エキス顆粒）を組合せて治療します。
- ・中程度の病気：漢方製剤と単味の生薬エキス顆粒を組合せて治療します。
- ・重症の病気やエキス顆粒無効の場合
漢方煎じ薬を使います。より細やかに治療できますので、治療効果も優れています。

女性の方に限らず、男性の方や子供の方もご相談下さい（高齢の方、乳幼児の方もどうぞ）。

問診、望診（舌診）、聞診、切診（腹診と脈診）の東洋医学的診断法（四診）や検査（超音波、血液、便、心電図、骨塩量測定・・・・・・・・）などを利用して、【漢方薬】の決定をします。

皮内針

針の長さは1～2mmで、刺す時の痛みはありません。
【適応】肩凝り、腰痛、神経痛、筋肉痛・・・・・・・・

神経照射（スーパーライザー）

赤い温かい光（近赤外線）で血行をよくして、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス、肩こり、腰痛、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫・・・などの治療に利用します。

各種軟膏・点眼薬・点鼻薬

各種外用薬（漢方薬、アトピー専用、痒み止め、非ステロイド剤、ステロイド剤、抗生物質、抗真菌剤、保湿剤）、点眼薬（抗菌剤、抗生物質、抗アレルギー剤）、点鼻薬（抗アレルギー剤）、喘息吸入薬、口腔内（口内炎用貼付剤及び軟膏、抗真菌剤、含嗽（うがい）薬）、湿布薬（冷湿布、温湿布）、痔（軟膏、座薬）など。

入院食（手作り）

心のこもった【手作り】料理です。十分に吟味した素材を使い、塩分やカロリーに気をつけています。

漢方入浴剤

美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび
昇竜湯：神経痛、腰痛、肩凝り、疲労回復
アトピーの方の【漢方入浴剤】各種あります。

処置診

処置、検査、点滴、針、スーパーライザーの場合
【受診者名簿】の【処置診】の欄に、【氏名】を書き、診察券を入れて下さい。

骨量測定（DEXA）

1分で測定（極少量のX線吸収を利用）でき、結果は、直ぐお知らせします。

低用量ピル

従来のピルよりも副作用が減っています。正確な知識を持って頂くため、問診表を作成しています。

足つぼ刺激、体脂肪測定

足のつぼを刺激は、10分で5kmの散歩に相当します。糖尿病、高脂血症、神経痛、腰痛、浮腫、高血圧、神経痛などの方、お試し下さい。

駐車場

- ・北－駐車場(40台)（日曜・祭日・祝日：終日閉鎖）
月・水・金：午前8:30～夕方診終了まで
火・木・土：午前8:30～午前診終了まで
- ・東－南駐車場(11台)（終日駐車可能）

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午 前	一般外来	妊婦外来 助産婦相談室	漢方外来	漢方外来	妊婦外来 助産婦相談室	一般外来	-
夕 方	更年期外来	-	不妊外来	-	漢方外来	-	-

午前の診察（月～土） 午前9:00～正午 午後の診察（月・水・金） 午後5:30～午後7:30

◇一般外来：漢方治療を望まれる方〔男性・女性・小児、どなたでもお越し下さい〕

産科〔妊婦健診・妊娠中の方の不調〕

婦人科〔癌健診・子宮筋腫・子宮内膜症・更年期障害・不正出血・・・〕

◇漢方外来：内科・小児科・皮膚科・産婦人科・整形外科・耳鼻科・眼科・・・など全科

◇更年期外来：更年期の方・思春期の方〔女性・男性、どなたでもお越し下さい〕

◇不妊外来：赤ちゃんの欲しい方〔ご夫婦でもお越しになれます〕

◇妊婦外来：妊婦健診・妊娠中の方：（火）午前11：00～正午は産後健診、赤ちゃん健診

◇助産婦相談室：妊婦相談、乳房相談、育児相談（午前8:40～午後12:30）（日程は掲示）

前期と中期－母親教室

日時：10月24日、12月12日（火）

対象：妊娠7ヶ月までの方（定員5名）（無料）

場所：当院1階 申込方法：【申込ノート】にご予約ください。

皆様のご希望に答えて、後期母親教室の回数をできるだけ2回にいたします。ティータイム、ご期待ください。

後期－母親教室

日時：10月3日、17日、11月7日、21日、12月5日、19日（火）

対象：妊娠8～10ヶ月の方（定員5名）（無料）

お気軽にご参加下さい。ご主人の参加も歓迎します。

母親教室ティータイム

“ブリオッシュ”と“Le・marron”をお楽しみください。フランスの代表的な朝食パン“ブリオッシュ”は、バターや卵をたっぷり使い、18世紀、王妃マリー・アントワネットら貴族たちの間で、お菓子として愛されました。“Le・marron”は、ビスキュイ・ジョコンド、マロンクリーム、白桃のムースの3層よりできた、おしゃれな秋のケーキです。



切迫早産と膀胱炎

切迫早産は、突然起こってきます。しかし、できるだけ予防したいものです。自覚症状（お腹がはる、出血、破水）や他覚症状（子宮口の開大、子宮収縮）などの出現する前に頻尿（尿が近い）になったり、おりものが増えたりしてきます。そこで、早産マーカー（せいらぎ12号）や尿検査（尿の顕微鏡検査）や子宮頸管培養（せいらぎ14号）で、陽性の場合、きちんと治療することが大切です。特に、最近言われ始めたのが、膀胱炎による切迫早産です。尿の症状（排尿痛、頻尿、残尿）が気になれば、早くお知らせください。



分娩予約の手続き

当院で分娩を予定されておられる方、できるだけお早めに、受付でご予約ください。ご予約には、分娩予約カードと予約金5万円が必要です。

助産婦相談室

妊娠、乳房、母乳、育児相談と健診の説明。
日時：原則として、火・金曜日 午前8:40～午後12:30

LDRベット

同じベットで、陣痛期、分娩期、回復期を過ごせます。陣痛や分娩ポジションも色々選べます。

赤ちゃん健診

1カ月健診、2カ月健診、3カ月健診をしています。
日時：毎週火曜日、午前11時～正午（有料）

立合分娩ご希望の方

あらかじめ、【受付】にお申し出下さい。

第10回妊婦のための料理教室

日付：10月13日（金） 時間：午前10時～午後2時
対象：妊婦の方（無料） 献立：ミニフランス料理

各種パンフレット

当院では、治療のパンフレットをご用意しています。アトピー性皮膚炎、更年期障害、スーパーライザー、子宮内膜症、子宮筋腫、HRT、排卵の予知、膣炎。

保険証変更の方

保険証変更予定の方、保険証変更された方は、できるだけ早く、受付に連絡して下さい。保険が使えなくなることがあります。